# 寒川町 平成20年度事務事業評価シート(平成19年度実施事業)

事務事業名	狭あい道路解消事業				第1班	第3事業
主管課·担当名	道路課道路管理担当		根拠法令等	建築基準法、寒川町建築	築行為に係る狭あ!	<b>ハ道路整備要綱</b>
課長	高橋 悟	体系コー	ド 11112-06	科目二	1一ド 01-08-02-	-01-005-01

## 【Plan - 計画】

1	′ <b>1</b>	\	수計	面	<b>⊢</b> ⁄	T)	노동	早べ	1+
(	- 1	)余余	容託	тшп	Г(	<i>)</i> ) 1	\/ TE	5°)	ıT

章	<b>央適でにぎわいのあるまちづくり</b>							
節	直携を考えた交通環境の整備を進めます							
項	通体系の整備							
小項目	道路網の整備							
細項目	人にやさしい安全な道路整備							
重点プロジェクト	□ いきいき □ 環境 ■ にぎわい							
事業区分	□ ソフト事業 ■ ハード事業							

## (2)事務事業の概要

事業	開始年度	平成	昭和	62 年
期間	終了予定年度		_	
事業内容	建築行為に係 用等により道			

## (3)事務事業の目的

Ī	0	対象(誰(何)のために)	幅員4m未満の町道に接する地権者、及び住民
	ו וים	意図(どのような状態にした いのか)	狭あい道路の拡幅整備をし、町民の生活基盤の向上等を図る。緊急災害時における道路 を確保する。

## (4)成果指標

<u>(4/) <b>以木</b>田保</u>										
	狭あい道路解消	そあい道路解消の為に道路後退した面積(m²)								
できない成果										
成果指標等の設定理由	狭あい道路の拡 	要あい道路の拡幅整備が目的なので、実際に道路後退した面積が成果指標となる。 								
目標値設定の考え方	過年度の実績が	過年度の実績から目標を設定								
目標値	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度				
口保胆 	270	270	300	300	300	336				

## 【Do - 実施】

# (1)成果指標

年度	平成1	8年度	平成1	9年度	平成2	0年度	平成2	21年度	平成2	2年度	平成2	3年度
指標(単位)	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
道路後退した面積(m)	270	237	270	300	300		300		300		336	
数値化できない成果の達成状況												

#### (2)活動指標

年度	平成1	8年度	平成1	9年度	平成2	:0年度	平成2	21年度	平成2	2年度	平成2	3年度
指標(単位)	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
処理件数(件)	30	39	36	38	40		40		40		44	

# (3)事業費 (単位:千円)

	_	年度	平成1	8年度	平成1	9年度	平成2	0年度	平成2	21年度	平成2	2年度	平成2	3年度
指標	(単	位)	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績
直接	直接事業費		14,956	13,736	12,486	14,398			/	/				
	財	一般財源	10,340	7,503	9,944	12,858			/	/				
	源	国県支出金	4,616	6,233	2,542	1,540			$\backslash$					
	内	使用料•手数料							$\setminus$	/				
	訳	その他							$\backslash$					
		執行率	91	.8%	118	5.3%								
人件	-費		4,413	4,413	7,325	7,325			$\backslash$					
		投入人員	0.6	0.6	1.0	1.0			$\setminus$					
	訳	平均給与額	7,355	7,355	7,325	7,325			$\setminus$					
		総事業費	19,369	18,149	19,811	21,723								

## 【Check - 評価】

(1)前年度評価シートの改善内容の実施状況

平成19年度の改善予定	平成19年度の改善結果	
要綱の改正等も含め、制度の見直しを検討する。	内部での検討をしたが、見直しには至らなかった。	
	7 747 4 30 7417 6 3 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	

## (2)事務事業の評価

Ē	平価の視点	評価のポイント	評価	理由
妥。	事務事業を 実施する必 要があるの か	・必要な事務事業か ・事務事業のニーズは ・事務事業の公共性は ・社会環境変化	■ 妥当である □ どちらかと言えば妥当である □ あまり妥当ではない	建築基準法では、緊急災害時の道路確保のために行う事業 で幅員4m確保する必要があり、町民の生活基盤の向上等を 図る事業なので、必要な事務事業である。
性	町が主体と なって実施 する必要が あるのか	<ul><li>・町が実施すべき事務事業か</li><li>・町が実施しない場合の影響は</li><li>・町民との協働は進めているか</li></ul>	■ 町が行わなければならない □ 町が行った方がよい □ 町が行うべき必然性が低い	対象が町道であり、公共性があるので、町で実施すべき事業である。
有効性	対象者の満 足度や事業 の達成度は どうか(成果 指標の状況)	・目標の達成度 ・成果の向上 ・活動内容は適切か	十分成果が上がっている 成果は十分とはいえない 成果は上がっていない	19年度の後退面積は299.84㎡であったが、制度の見直しによってさらに狭あい道路の解消を進める必要性がある。
効率性	事業費に無駄はないか	<ul><li>・事務事業は効率的に 行われているか</li><li>・コストの節減</li><li>・実施手法</li><li>・受益者負担</li></ul>	<ul><li>□ 適切である</li><li>■ 適切だが改善の余地がある</li><li>□ 効率的でない</li></ul>	後退用地を有償譲渡で取得した場合の土地購入費や物件補償費がかかるので、無償譲渡(寄附)による取得を増やしたい。

## 【Action - 改善】

(1)事務事業を進めていく上での課題、解決に向けての改善内容

	課題	平成20年度	平成21年度以降
妥当性			
有効性	建築確認に伴う申請による事業なので、狭あい道路の解消に時間を要する。		制度の見直しを検討する
効率性	将来的に不安定な無償使用を減ら し、無償譲渡(寄附)を増やしたい。	要綱に基づいて実施しているので、 近隣の実施状況等調査する。	要綱の見直しを検討する。

## (2)事業の今後の方針(課長による評価)

活動指標の目標		高める     ■ 設定どおり     □ 下げる
	理由	あい道路の解消を進める為、要綱改正によるものも含めた処理件数の増加を目標とする。
成界		高める
	理由	あい道路の拡幅整備が目的なので、実際に道路後退した面積を目標とする。
事務	事業の方向性	│ 方法改善 □ 現状維持 □ 縮小·廃止·終了 □ 統合
		活基盤の向上、緊急災害時における道路幅員の確保等一定の事業効果を上げているが、課題を整理す 為、他市町の状況等も参考にしながら制度の見直しを進める。